

# 20160715 蔵前ゼミ (通算 第 58 回)



講師の柿沼さん



会場風景 (すずかけ台, J221 講義室)



ゼミ後半のパネルディスカッション



交流会での乾杯 (すずかけホール 3F ラウンジ)



交流会で学生と話す柿沼さん



交流会で学生と話す加藤さん



開会挨拶 太田さん, 世話教員 湯浅さん, 閉会挨拶 錦織さん

◆太田さんの挨拶: 教育改革でこの蔵前ゼミがどうなるのか心配していましたが、湯浅先生のご努力のお陰で続くことになり感謝しています。風前の灯だった「後期分」も何とか継続の目途が立ち喜んでます。水本副学長(教育担当)をお願いしていたのですが、羽鳥好律 特命教授(イノベーション人材養成機構)のお世話で「キャリアデザイン科目」として第3クォータに開講できることになりました。さて、今日のパネルディスカッションでは“社会での活躍”と“WLB”の両立が問題になりましたが、私の経験(インターネット→光通信→クラウド関連分野の仕事)では、社会で真に必要な仕事をしている時はそんなことを考えずに取り組める気がします。社会の発展に不可欠な仕事をしている時は悩みのない高次元の世界が出現します

◆湯浅さん: 企業社会論を2年間担当し、1年目の反省から真剣な受講態度に重点を置いた結果、内職や居眠りをする人がいなくなり良かったと思います。この方式を次の担当者に引き次ぐとともに、多人数のもとでの双方向授業(パネルディスカッション)の在り方については今後も継続課題として模索していく必要があります。学生の皆さんもいいアイデアがあれば提案して下さい

◆錦織さん: 蔵前ゼミを始めた当初から、次のように大学に働きかけているのですが残念ながら実現していません:『技術の最先端が感覚的につかめないと企業の役員として大きな決断ができない時代になりつつあります(文系出身者には役員は務まりにくいのです)。まさしく東工大の定番といっているでしょう。それには「会計学」の基礎知識も必要なので、是非コンピュータリテラシーのようにカリキュラムに組み込んで欲しい。そうすれば他大学との差別化ができ東工大がより優位に立ってます』。皆さん、なるべく早い時期に会計学の基礎を身に付けて下さい。